

巻頭言



取締役副社長 佐藤 脩

21世紀を迎えた今日、全世界の人口はすでに60億を突破しさらに増加しつつある。18世紀初頭の世界人口は約5億であった。19世紀初頭は約10億。20世紀初頭は約15億であった。

そのころまでは、局地的な問題は内包されてはいたものの、地球の環境に対する自浄作用は有効に機能していた。

私が大学の民法の講義で『公害』という言葉と法律の概念として初めて耳にしたのは、1960

年代の初めで、極めて新鮮な印象があったのを覚えている。そのころ、すでに世界の人口は30億を超え、先進国における化学物質や化石燃料の大量消費、汚染、食糧あるいは都市問題などさまざまな問題が地球規模で顕在化しつつあった。——「もはや自浄作用だけでは地球環境の維持は困難であり、この解決のためには国際政治や経済問題を踏まえたグローバルな対応